

スクールカウンセラーだより

No.4 2012年 7月号



平成24年7月9日

新宿区立四谷中学校

スクールカウンセラー：黒岩・笠原

☆☆☆ 「家族」って、何？ ☆☆☆

試験が終わり、7月にはいって、夏休みはもうすぐ。夏休みの計画に思いをめぐらすのは楽しいものですね。部活や受験などで忙しい場合もあるでしょうが、家族で過ごす時間が増えることでしょう。

皆さんは「家族」という言葉に、どんなイメージをもっているでしょうか？ 20世紀の日本人が思い描く「家族」は「専業主婦のお母さんと、月給を運んでくるお父さんが、2人の子どもを育む核家族」というものでした。

しかし、21世紀の家族の姿は、もっと多様化しています。子どものいない家族も多いですし、お母さんだけ、お父さんだけ、単身赴任や介護、勉強の都合で家族と離れて暮らす家族や子どももいます。里親や養子縁組、子どもを連れた再婚同士など、血縁を前提としない家族も珍しくありません。また、国際結婚をしたり、他の国で暮らすと、日本人の家族イメージと比べて、他国の「家族」が思いのほか広範囲だったり、関係のとり方が違っていたりして、とまどうこともあるかもしれません。

実は現代の「家族」は、きちんと定義できないのです。それぞれの家族のメンバーが、「家族だ」と思えるなら、それが「家族」なのかもしれません。ですから、皆さんは、自分の家族が「日本人の平均的家族像と違う…」からといって、悩むことはありません。



☆☆☆ 家庭の安らぎ ☆☆☆

さて、皆さんが家族に望むことはどんなことでしょうか？「家庭に対して最も求める役割」を一つ選択するという大人向けの調査では、「心の安らぎを得るといふ情緒面」が最も多かったそうです。学校や職場から疲れて家に帰ってきたとき、気持ちが安らげると、また明日も頑張ろうと思えますよね。

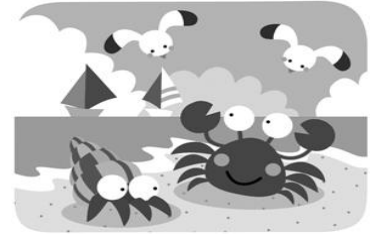
でも、毎日顔をあわせて、いろいろな思い入れややり取りのある家族だからこそ、つい遠慮なく感情をぶつけ、言いすぎてしまうこともあります。「そんな言い方しなくてもいいのに…」、「どうして我が家はこうなんだろう？」、「父母がこんなふうだったらいいのになあ」、「ウザい！」等々、いろいろな思ったり、ケンカしたり、友だちにも話せずに、ひとりで悩むこともあるかもしれません。

反抗期、自立の時期である皆さんは、自分の家族から離れることが一つの課題で、他の家庭の様子を見聞きすることで、家族を客観的に見つめることもできるでしょう。しかし、長い自立の道のりの一歩として、家族と話すこともお勧めします。「おはよう」「いただきます」「行ってきます」「おやすみなさい」を言って、今興味があることやおもしろいと思っていることを話してみましょう。親は何も知らないと心配ばかりしますが、少しでも子どものことがわかってくると安心できるのです。



でも、やっぱり・・・、ということでしたら、二学期に「ふれあいルーム」にどうぞ。家族イメージをシールで貼ったり、ジェノグラムを作ったり、面白いワークもありますよ。

保護者の皆様へ



家族にはもともと生産的機能をはじめ、様々な働きや役割があったのですが、それらを少しずつ外部に委託するようになりました。そして、最後に残された機能が「子どもの社会化」と「家族成員の情緒的安定」だといわれています。しかし、子どもが社会で生きていけるよう「社会化」し、家族の情緒安定のために配慮すること、家族が担う役割は難しく大変なことで、これも学校や地域、専門家に頼るようになってきています。

東日本大震災の後、家族の絆の大切さが再認識されるようになりました。しかし、経済状況や労働条件の厳しさ、自分の人生や楽しみを追及する傾向のなかで、保護者の皆様も忙しく、子どもを育てることに関わる時間や配慮が減少しているのかもしれませんが、子どもはそれを敏感に感じとって、「お父さん・お母さんは、私のことが嫌いなんだ…」「存在を否定された！」などと感じることもあります。

また、子どもを褒めたり叱ったり、飴と鞭をうまく使えば、子どもが思うようになると思っている方もいらっしゃるようです。しかし子供はいつまでも保護者の手のなかにはいません。特に思春期の子どもは家族の外の世界に触れて、自分なりの価値観や考え方を身につけていきます。

「真実はただ一つだ」と思っている方が多いかもしれませんが、「多元的な真実」という考え方があります。人間的な事柄に唯一絶対の真実などは無く、あるのは、それぞれの人の理解と意味づけが生み出した、それぞれの人にとっての真実なのだという考え方です。

子どもがSOSを発しているとき、どちらが正しいかを争うよりも、むしろ、真実が多元的にあり、いずれの真実も個々人にとっては曲げられない貴重なものなのだとして尊重しあうところから始めると、道が開けてくるのではないかと考えています。

スクールカウンセラーは、日々成長していく子どもにとって、今何をしたらよいのかを、お子さんの毎日の生活を知っている親御さんとともに考えていきたい、と考えています。人の成長は各々違います。今からできること、これからの対応など、それぞれ子どもに応じて違ってきます。何かご心配や不安などがありましたら、ふれあいルームにおいでください。

ふれあいルームのご案内

▼ 利用方法

- ・月曜日と金曜日に、スクールカウンセラーが来ていて、相談ができます。
- ・予約を取ることもできます。

★ふれあいルーム直通電話（月・金のみ）：

03—3358—4033



▼スクールカウンセラーの来ている日

7・8・9月

月	火	水	木	金	土	日
7/9 笠原	10	11	12	13 黒岩	14	15
16 海の日	17	18	19	20 黒岩	21	22
夏 季 休 業 7/21~8/26						
8/27 笠原	28	29	30	31 黒岩	1	2
9/3 笠原	4	5	6	7 黒岩	8	9
10 笠原	11	12	13	14 黒岩	15	16

（笠原 8:30~17:00 / 黒岩 10:15~17:00）

